

エコアクション21

環境活動レポート

第1版

(2016年7月～2017年6月)

2017年11月1日発行



(塩田川浚渫工事の様子↑)

有限会社 望月建設工業

〒424-0401 静岡市清水区中河内526番地

1. 環境方針

<環境理念>

弊社は、興津川の清流と豊かな山林を擁する静岡市にあり、豊かな自然と共に建設業を通じて歩んできました。

自然と人が共生できる街づくりに貢献し、環境経営システムを構築・運用・維持することにより、地域環境の保全活動にも自主的かつ積極的に取り組みます。

<環境保全への行動指針>

1. 燃料使用効率の高い設備・機械へ転換推進し、二酸化炭素排出量の低減に取り組めます。
2. 廃棄物の排出量の削減及び適切なリサイクルを推進します。
3. 再生資源を有効利用し、グリーン購入も推進します。
4. 化学物質の適正管理に努めます。
5. 環境関連法規等を遵守します。
6. 環境経営システムの構築及び継続的改善を推進します。
7. 地域社会のために積極的に社会貢献活動を行います。
8. 本方針を全従業員に周知徹底するとともに、環境活動レポートを作成し社外にも公表します。

制定 2016年5月15日

有限会社 望月建設工業

代表取締役 望月栄寿

2. 事業の概要、規模

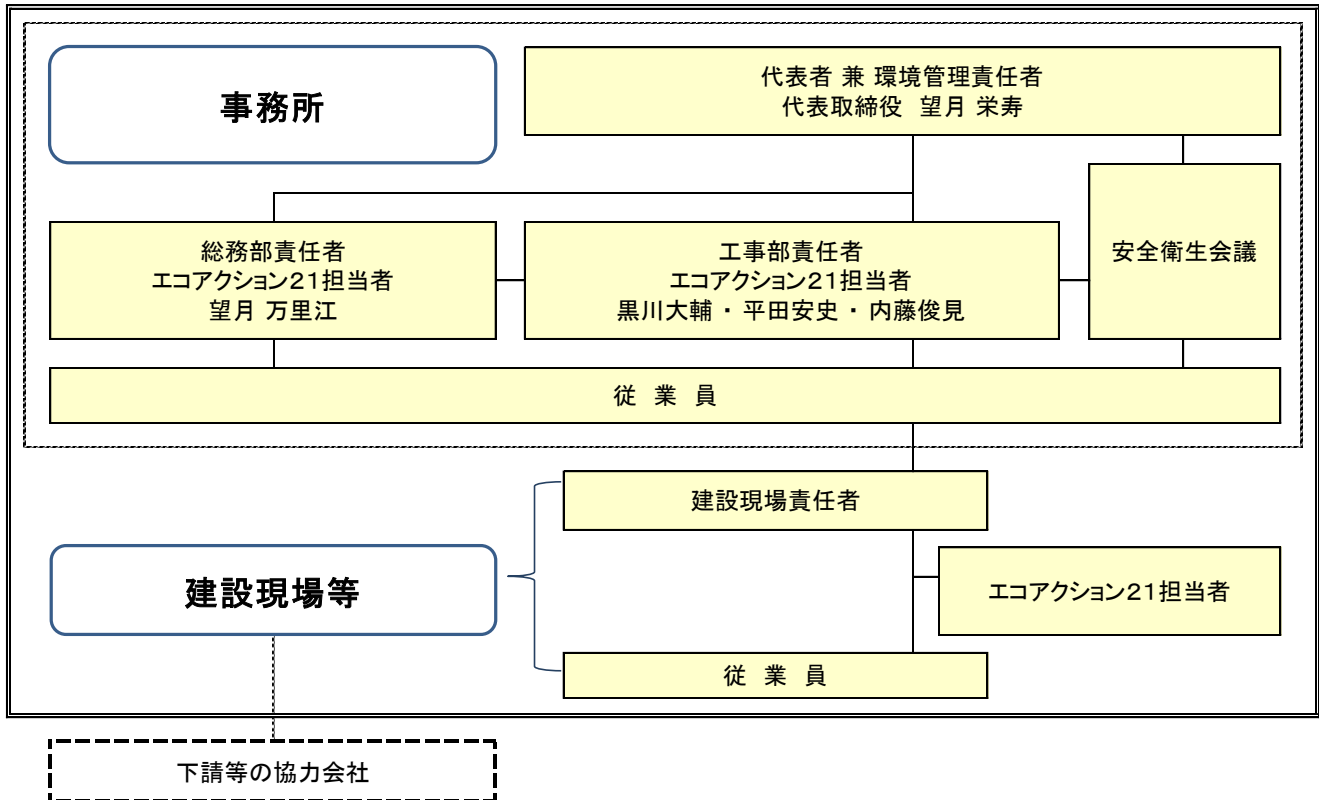
- ✚ 会社商号・・・有限会社望月建設工業 代表者氏名・・・代表取締役 望月栄寿
- ✚ 所在地・・・本社 〒424-0401 静岡市清水区中河内526
倉庫：静岡市清水区中河内663-1 車庫：静岡市清水区中河内527-1
資機材置場：静岡市清水区中河内935
- 環境管理責任者氏名・・・望月栄寿 EA21担当者連絡先・・・望月万里江
- ✚ TEL：054-395-2226 FAX：054-395-2227
Email：mochiken@cronos.ocn.ne.jp HP：http://ohakasentai.com/mochiken/
- ✚ 法人設立・・・昭和56年6月26日（創業 昭和35年4月1日）
- ✚ 事業年度・・・7月1日～翌年6月30日
- ✚ 資本金・・・2,000万円 従業員数・・・9名
- ✚ 事業内容・・・建設業（土木工事業、とび・土工工事業、石工事業、鋼構造物工事業
ほ装工事業、しゅんせつ工事業、水道施設工事業）
- ✚ 建設業許可・・・静岡県知事許可（特-26）第012928号
建設業の種類：土木工事業、とび・土工工事業、石工事業、鋼構造物工事業
ほ装工事業、しゅんせつ工事業、水道施設工事業
許可の有効期限：平成26年9月19日から平成31年9月18日まで
- ✚ 産業廃棄物収集運搬業許可・・・静岡県知事許可 第2201125808号
種類：廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず
がれき類、紙くず、木くず、繊維くず（石綿含有廃棄物を除く）
運搬車両の種類と台数：3tダンプ1台、4tダンプ2台、ユニック1台、2tダンプ1台
許可の有効期限：平成28年3月3日から平成33年3月2日まで
- 直近年度（2016.4～2017.3）において収集運搬実績なしのため産業廃棄物収集運搬業は対象外とする。
- ✚ 対象の事業所範囲・・・本社、倉庫、資機材置場、車庫
- ✚ 取り組みに参加・協力する事業所・・・無し

■ 事業規模

事業年度	売上高	従業員数	事務所延床面積	倉庫延床面積	資機材置場延面積
2014年度 2014.7.1～2015.6.30	248,072 千円	10 人	156.07 m ²	404 m ²	2,748 m ²
2015年度 2015.7.1～2016.6.30	250,252 千円	9 人	156.07 m ²	404 m ²	2,748 m ²
2016年度 2016.7.1～2017.6.30	110,063 千円	9 人	156.07 m ²	404 m ²	2,748 m ²

3. エコアクション21実施体制と役割

2016年5月1日制定



■ 役割・責任・権限

役割	担当者	責任・権限
代表者	望月 栄寿	環境方針の策定・環境管理責任者の任命 環境経営システムに必要な人、設備、費用、時間、技術者を準備 環境活動レポートの承認・環境関係法令遵守推進 環境目標、活動計画書の確認、承認・全体の評価と見直しの実施
環境管理責任者 (代表者と兼任)	望月 栄寿	環境経営システムの構築、運用、維持またその状況を代表者へ報告、環境関連法規等の遵守確認責任者 環境経営システムを全社員へ周知、徹底 環境活動レポートの確認・外部から苦情受付、対応、記録
事務局	望月万里江	環境管理責任者の補佐・環境関連文書の原案作成 環境活動実績集計・環境活動レポートの作成 環境関連法規等の一覧作成・遵守確認に係わる事務責任者
工事現場 推進委員	黒川 大輔 平田 安史 内藤 俊見	環境経営システムの実施 環境方針の理解、社員や協力会社への周知、教育、指導 問題点の発見、是正、予防措置
全社員		環境方針の理解・環境への取り組みの重要性自覚 関係法令遵守・自主的積極的に環境活動へ参加 問題点の発見、相談

4. 環境目標とその実績

2016年9月30日

■ 環境負荷の中期目標設定

項目		単位	基準値	目標数値（小数点以下切捨て）		
			2015年度 (2015.7～ 2016.6)	2016年度 (2016.7～ 2017.6)	2017年度 (2017.7～ 2018.6)	2018年度 (2018.7～ 2019.6)
CO ₂	電気使用量	kWh	11,536	-2% 11,305	-3% 11,189	-4% 11,074
	ガソリン	L	5,371	-2% 5,264	-3% 5,210	-4% 5,157
	軽油	L	12,994	-2% 12,734	-3% 12,604	-4% 12,474
	【総排出量】	kg-CO ₂	52,312	-2% 51,266	-3% 50,743	-4% 50,220
産業 廃棄物	リサイクル率	%	リサイクル可能な ものは全て100%	±0% 100%	±0% 100%	±0% 100%
水	水使用量	m ³	井戸水使用のため 計測不能	-	-	-
化学物質の適正管理			適正管理	適正管理	適正管理	適正管理
社会 貢献	清掃活動	回	4回	4回	4回	4回
グリーン購入		品目	2品目	3品目	4品目	5品目

◇ CO₂項目中にプロパンガスの使用実績がありますが、軽微（0.1%未満）のため除外してあります。

◇ 電力のCO₂排出係数は0.497kg-CO₂/kWhを使用しています。

■ 運用1年・・・（2016年7月～2017年6月）：前年度目標値対比

項目		単位	2016年度目標値	実績	対比 増減率	評価
			2016.7～2017.6	2016.7～2017.6		
CO ₂	電気使用量	kWh	11,305	7,032	-37.8%	○
	ガソリン	L	5,264	4,879	-7.31%	○
	軽油	L	12,734	17,741	+39.32%	×
	【総排出量】	kg-CO ₂	51,266	64,392	+25.6%	×
産業廃棄物	リサイクル率	%	リサイクル可能な ものは全て100%	100%	±0%	○
水	水使用量	m ³	井戸水使用のため 計測不能	-	-	-
化学物質の適正管理			適正管理	適正管理	-	-
社会貢献	清掃活動	回	4回	4回	±0%	○
グリーン購入		品目	3品目	3品目	±0%	○

◇ 【評価】 ○・・・2%削減目標達成 ×・・・2%削減目標未達成

◇ 実績数値は小数点以下切捨て、対比増減率は小数点2位以下四捨五入しました。

5. 主要な環境活動計画の内容

- 電気使用量削減実施事項
 - ① 冷暖房の設定温度を定め、実行する。
 - ② 未使用場所の消灯徹底及び昼光の積極的利用
 - ③ 節電啓発掲示による意識推進
- ガソリン・軽油使用量削減実施事項
 - ① 車両運転の際の急発進、急加速をしない等、エコドライブの徹底
 - ② 車両ダッシュボードにエコドライブ啓発掲示による意識推進
 - ③ 建設機械使用の際のエコ操作の徹底
 - ④ 燃費効率の良い車両に積極的に入替えをする。
- 廃棄物排出量の削減、及びリサイクル率上昇実施事項
 - ① 全ての廃棄物適正処理（分別）を徹底
 - ② 排出先をリサイクル施設又は収集運搬許可業者に徹底
- 水使用量削減実施事項
 - ① 水使用量削減（節水）を徹底
 - ② 節水啓発掲示による意識推進
- 化学物質適正管理実施事項
 - ① 化学物質の使用状況調査の徹底
 - ② 化学物質の適正な管理の徹底
- 社会貢献活動実施事項
 - ① 事務所周辺および工事現場周辺の清掃徹底
- グリーン購入実施事項
 - ① 事務用品、建設資材等の買い替え・補充購入の際に積極的にグリーン購入を推進する。

（避難訓練の様子↓）



6. 環境活動の取組結果の評価および次年度の課題

■取組結果評価 【取組事項評価】○・・・実施できた △・・・一部実施できなかった ×・・・実施できなかった

1 電気使用量削減目標・・・目標値対比実績「-37.8%」・・・達成

【取組事項】

- ① 冷暖房の設定温度を定め、実行する。・・・○
- ② 未使用場所の消灯徹底及び昼光の積極的利用・・・○
- ③ 節電啓発掲示による意識推進・・・○

全ての取組事項について実行でき、良い結果を出すことができました。今後も継続して取り組みを徹底したい。

2 ガソリン使用量削減目標・・・目標値対比実績「-7.31%」・・・達成
軽油使用量削減目標・・・目標値対比実績「+39.42%」・・・未達

【取組事項】

- ① 車両運転の際の急発進、急加速をしない等、エコドライブの徹底・・・○
- ② 車両ダッシュボードにエコドライブ啓発掲示による意識推進・・・○
- ③ 建設機械使用の際のエコ操作の徹底・・・△
- ④ 燃費効率の良い車両・重機に積極的に入替えをする。・・・×

ガソリン使用量については削減をすることができましたが、軽油使用量については目標数値を大幅にオーバーする結果となりました。この軽油使用量だけで全体のCO₂排出量の約7割を占めており、今後の取り組み（重機車種選定・稼働時間効率等）を更に強化していきたい。

3 産業廃棄物リサイクル率上昇目標・・・目標値対比実績「現状維持」・・・達成

【取組事項】

- ① 全ての廃棄物適正処理（分別）を徹底・・・◎
- ② 排出先をリサイクル施設又は収集運搬許可業者に徹底・・・◎

リサイクル可能なものは全てリサイクルするよう徹底します。今後も継続したい。

4 水使用量削減目標・・・目標値対比実績「-%」・・・計測不能

【取組事項】

- ① 水使用量削減（節水）を徹底・・・○
- ② 節水啓発掲示による意識推進・・・○

水は全て井戸水を使用していますので数量の計測ができません。よって、取組事項については継続して行いますが、その結果検証については行いません。

社員全員に節水啓発を促して、少しずつでも効果が出るよう継続して取組みたい。

5 社会貢献活動目標・・・目標値対比実績「4回」・・・達成

【取組事項】

- ① 事務所周辺および工事現場周辺の清掃徹底・・・◎

定期的に本社周辺及び建設現場周辺の清掃活動を行っている。今後も地域社会に貢献するべく、継続したい。

6 グリーン購入目標・・・目標値対比実績「3品目」・・・達成

【取組事項】

- ① 事務用品、建設資材等の買い替え・補充購入の際に積極的にグリーン購入を推進する。・・・・・・○

今後、購入予定の事務用品や建設工事に関連する用品については積極的にエコマーク認定商品に切り替えて購入するように心がけ、少しずつでも購入品目を増やすように努力したい。



(ボランティア清掃活動の様子↑)



(安全訓練の様子↑)

7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

環境関連法規	内 容	遵守確認
廃棄物処理法	委託契約書作成、保管基準、マニフェスト交付・保管（5年間）、交付状況等報告書の提出、廃棄物委託処理先の現地確認（静岡県条例）	遵守
建設リサイクル法	建築物等の分別解体義務・事前届出、特定建設資材廃棄物の再資源化義務	遵守
騒音・振動規制法	届出、規制値の遵守（建設重機類は低排出ガス・低騒音のものを使用）	遵守
浄化槽法	浄化槽の保守点検、清掃、定期検査	遵守
オフロード法	基準値に適合した特定特殊自動車の使用義務・点検整備、適正燃料の使用	遵守
自動車リサイクル法	適正に専門業者への引き渡し	遵守
自動車NOx・PM法	規制対象車両の登録禁止・指定地域通行禁止	遵守
グリーン購入法	環境負荷低減に資する製品・サービスの調達を推進する	遵守
労働安全衛生法	届出、報告、安全衛生教育の実施、安全衛生推進者の選任、石綿障害予防規則による調査・分析・記録・教育・届出	遵守
フロン排出抑制法	エアコン機器の簡易点検（四半期に1回以上）・フロン漏洩自主点検 冷媒フロン類のみだり放出禁止、エアコン機器廃棄時のフロン回収破壊委託	遵守

- 当社に適用される環境関連法規等の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。
（遵守確認日 2017年9月1日・確認者 望月栄寿）
- 過去3年にわたって関連機関からの違反指摘及び地域住民等の利害関係者からの訴訟等はありませんでした。

8. 代表者による全体の評価と見直し

今期は初めて、年間通してのエコアクション21における環境活動を運用いたしました。

全体の評価としては、各項目について概ね満足の行く結果が出せたと考えています。

個別項目で軽油使用量の増加がありましたが、建設工事の特殊性によりかなり左右されますので結果も大切ですが、日々の活動プロセスを重要視して、今後も社員一丸となって環境活動の取組を徹底することが今は大切だと考えています。

見直しについては、工事検収実績も踏まえた結果を出してから考えたいと思います。今は当初に定めた取組事項を工事単位で評価し、完全にクリアできるよう積極的に環境経営システムを構築していきたい。

2017年 11月1日
有限会社 望月建設工業
代表取締役 望月栄寿